

ドイツ語教育部会ワークショップ開催のお知らせ

タイトル：新しい授業スタイルの可能性を探るーオリジナル教材作成とタスク／プロジェクトの導入方法を学ぶー

講師：濱野英巳、ホルガー・シュツテレ、武井佑介

対象者：一定のドイツ語教歴があり、自身の授業スタイルを確立しているが、以下のような様々な理由から授業改善を希望される方

- ・ コマ数やクラスサイズに問題がある。
- ・ 第2第3外国語の学生が中心である。
- ・ 教科書を指定されている。
- ・ 従来の講義型の授業に限界を感じている。
- ・ 従来の文法の授業や会話の授業に問題を感じている。
- ・ DaFの教科書や授業にも違和感がある。
- ・ 学生のやる気を引き出したい。
- ・ 自分自身がもっと楽しい授業を実施したい。
- ・ 麗澤大学ドイツ語専攻の「教科書を使わない授業」に興味関心がある。

目的：既存の授業を劇的に変えるのではなく、段階的に授業を改善する方法を共有する。

場所：麗澤大学新宿キャンパス ([新宿アイランドタワー4F](#))

開催日時：2024年2月13日(火)・19日(月)

使用言語：日本語

費用：ドイツ語教育部会会員は無料。非会員は1回につき1,000円。

申込方法：[こちらのフォーム](#)よりお申し込みください。

申込期限：2024年2月9日(金)

備考：両方の回への参加を推奨します。普段用いている教科書や教材をご持参ください。

タイムテーブル：

第一回の内容 (13:00-17:00)

1. 講師紹介、経歴。
2. 参加者による自己紹介。
3. 麗澤大学でこれまでに行った授業例と「教科書を使わない授業」のコンセプト説明。
4. ワールドカフェ1：今現在どのような授業を行っているのか？
5. ワールドカフェ2：学生にどうなってほしいのか？
6. 既存の教材などはそのままに、教え方・学び方を変える。

第二回の内容 (13:00-17:00)

1. リソースの収集と補足教材の作成。
2. カリキュラム／シラバスの設計方法を学び、教科書から離れるイメージを作る。
3. 春学期の授業実施計画の作成。